

鶴岡市地域福祉計画、鶴岡市地域福祉活動計画 策定委員会  
第一回 応援団づくり部会（福祉人材の発掘・養成）

日時：平成27年10月2日

会場：鶴岡市総合保健福祉センター小会議室

【出席者】

策定委員

小林 達夫（鶴岡市老人クラブ連合会 会長）  
櫻井 好和（鶴岡市ボランティアセンター運営委員会 委員長）  
佐野 治（東北公益文化大学 准教授）  
宮樫 毅（前社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会 会長）  
佐藤 佐保子（鶴岡地区特養連絡協議会）  
田口 比呂貴（地域おこし協力隊）

ワーキンググループメンバー

社協

奥山 和行（社協朝日福祉センター センター長）※班長  
小林 朋子（社協特別養護老人ホームおおやま 介護主任）※副班長  
粕谷 香織（社協地域福祉課 地域福祉係 主任）※担当職員

市

伊藤 慶也（地域振興課 課長補佐）※班長  
伊藤 周一（朝日庁舎市民福祉課 課長補佐兼健康福祉主査）※副班長  
小島 寛子（市福祉課 地域福祉係 主事）※担当職員

【主な内容】

①開会（班長 伊藤慶也課長補佐）

②自己紹介

③部会長の選出（櫻井部会長）

④説明

ワーキンググループ合同会議で出た事例について社協・市職員から説明（配布資料の通り）

⑤協議

部会長の進行により法人の地域貢献、人材育成等について以下の通り意見が挙げられた。

**事例**

・老人クラブでは今年度から小さな親切運動を推進している。各クラブで要支援にならないための活動を行い「元気な仲間をいつまでも」を目標にしている。老クの会員数は

大山が多い、1~6学区では減少傾向にある。行政からも声掛けをしてほしい。

・静岡で「学校で使える福祉教育」国語、部活、生徒会……の中で使えるマニュアルを作った。福祉教育にはマニュアルだけでなく準備と人材が必要（先生+社協職員とか福祉の専門職員）

・社協の地域貢献について、大阪では企業がグループを作り、資金を出し合って事業を行っている。→これらに資金をもとに府社協で貸し付け事業を実施

・社会福祉法改正案（継続審議中）では、社会福祉法人の責務として地域における公益的な取り組みを実施することが定められている。

例）豊中市社協 CSW 助成金

滋賀県老人ホームを24時間開放し若者子供の居場所づくり

### 人材育成について

・現在、人材養成がうまくいっていない。今までどおり良いのか？これでは実践者が減るばかりだ

・「福祉教育」＝「ボランティア教育、ボランティア活動」なのか？教育というと学校や学生に限定されがちだが、青年や元気な高齢者も対象になりうる。

・福祉専門職ではなく、一般の人をどう福祉活動に取りこむのか。生協、農協、一般企業や労働組合はネットワークを組み応援団を作っている例もある。

・支援の必要な人を取り巻く人をどう育てるのが大切

・社協専門職職員の育成も活動計画に入れてはどうか？（人材については発展強化計画に盛り込まれている）

・人材育成について。最近施設に入ってくる新人職員は高齢者と生活をしたことの無い人が多い。小中学生に認知症を教えるのはどうか。小学生が認知症徘徊者を発見できるように。社協では地元の人と学校を訪問し認知症サポーター講座を実施している。

### 法人の社会貢献について

・（配布資料の鶴岡市社協施設のボランティア活動について）現行の地域貢献活動をもっと広く知らせるべき。

・以前出席した講演会でキンピール社長が「これからは、企業は社会貢献しないと生き残れない」と言っていた。企業にとって企業イメージの向上や地域の人からの支援は欠かせなくなっているようだ。

・1970~1980 ころ社会福祉法人の資源を地域へ提供する流れがあった。

### その他

・応援団の対象とする人は？誰を応援するか？→支援の必要な人

・介護ロボット20~30年後に導入、自動運転の車も今後出てくるだろうから、介護や有償運送の分野で効率化は避けられないだろう。

- ・ワーキンググループと計画策定の関係が見えない
- ・ワーキンググループでは事務局がテーマを絞って示し議論すべき
- ・事務局から論点の提示が必要



鶴岡市地域福祉計画、鶴岡市地域福祉活動計画 策定委員会  
第1回 応援団づくり部会

日時：平成27年10月2日(金)

午後2時30～

場所：「にころふる」大会議室1

【次第】

1. 開 会
2. 自己紹介
3. 部会長・副部会長の選出
4. 部会提出資料について
5. 協 議
  - (1) テーマ関連事項について
  - (2) その他
6. その他
7. 閉 会

※次回開催予定：期日 平成27年12月18日(金) PM

場所 鶴岡市総合保健福祉センター (にころふる)



③テーマ（応援団づくり／福祉人材の発掘・養成）に係る取り組みの情報交換

見守り・支え合い活動の担い手に関すること
<p>&lt;朝日&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上名川集落／市コミュニティワーカー受講者や自治会長、ボランティア等で「見守りたい」を結成</li> <li>・上田沢集落／全世帯で取り組む見守り活動を実施（参考：大分県国東市）</li> <li>・今の活動を支えているのは高齢者。今後、地域活動の核になる方をどう見つけ、育成していくか、人材発掘と養成は大きな課題。</li> </ul>
福祉教育（学習）に関すること
<p>&lt;社会教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生等を対象にしたボランティア育成の事業に取り組んでいる</li> </ul> <p>&lt;社協&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校等にける福祉学習をH26年度は32か所で実施。当事者（障がい者や高齢者）からもゲストティーチャーとして協力いただいている</li> <li>・福祉学習助成金を21校に交付</li> </ul>
ボランティア活動に関すること
<p>&lt;社協（ボランティアセンター）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「受入れ側（主に施設）」「ボランティア」「未経験者」等を対象に各種講座を開催。</li> <li>・若者サポートセンターやくらしすと連携し、「ちょぼら場」でひきこもり等の方の受け入れを行うことが増えてきた。20代から80代の幅広い年齢層が参加している。</li> </ul> <p>&lt;地域振興課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとりあでは、個々のサポーターに合った活動の紹介やマッチングができるよう、昨年度から活動内容を詳細に見直し（清掃、保全、外来種の駆除活動など）、サポーターの活動希望を聞き取りデータ入力している</li> </ul>
社会福祉法人としての地域貢献
<p>&lt;社協&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11の施設・事業所で、事業経営計画に基づき地域貢献を実施。 活動事例：DSの送迎バスを利用したひとり暮らし高齢者の買い物・外出支援等 おおよまH17年から開始。現在は住民として町内会の会合にも参加。</li> <li>・「地域応援隊」職員による地域貢献を藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海で実施</li> </ul>
地域を活性化する活動
<p>&lt;地域振興課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「過疎地域の集落対策」</li> <li>・「地域おこし協力隊」3年目。重労働の手伝いやサロン活動、タキタロウの調査活動で高齢者の多い地域を元気づけ、外部に地域の魅力を伝える効果があった。</li> </ul>

<p>移動に関する活動</p>
<p>&lt;地域振興課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「高齢者の移動支援」路線バス廃線に伴う代替の移動手段の検討 活動事例：藤島 東栄地区デマンド（藤島デマンド交通運営協議会） 羽黒 市営バス（地域で利用拡大協議会を立ち上げ） 西郷 ボランティア輸送（西郷地区ボランティア輸送活動運営協議会）</li></ul>
<p>&lt;社協&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「福祉有償運送」 庄内地域登録事業所6事業所（うち鶴岡市5事業所）</li></ul>
<p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・移動支援の活動紹介。産直カーによる人・モノの試験運行が実施されている。あさひ産直カーに農産物を運ぶついでに、買い物や高齢者の通院移動を無料で行っているが、利用がない。</li><li>・地域の実情に応じた自家用有償旅客運送制度の見直しにより、従来の実施主体（市町村、NPO、社会福祉法人等）に加え、自治会、青年団などが新たに実施主体として認められた。</li><li>・移動支援で大きな課題となるのは、タクシーやバス等民間業者の営業妨害とならないか、事故が起こった時の補償をどうするか。</li></ul>
<p>その他</p>
<p>&lt;企業・事業所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「山形新聞」配達や集金業務を通して見守り活動（みまわりさん）を実施</li><li>・「コープフードバンク」生活困窮者への食品提供について市社協と協定締結</li></ul>



1. 朝日支部運営事業

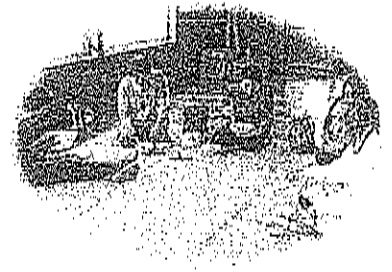
①地域福祉委員会の開催

朝日地域の福祉の充実を目的に開催します。

- ・年3回開催 第1回 - 7月17日(金)、第2回 - 11月、第3回 - 2月
- ・基金検討部会 10月下旬

②かがやき号運行事業の推進

福祉センターや福祉関係団体等が行う福祉を目的とした事業等に活用し、地域福祉事業の充実と円滑な推進を図ります。



2. おだがいさまのまちづくり事業

①おだがいさまネット活動推進事業

○あんしん見守り事業

ご近所同士のたすけあいの延長として、「見守りボランティア」が週1回程度、一人暮らし高齢者等見守りの必要な方を訪問し声かけを行います。

- ・実施集落 … 上名川 対象者6名 (平成23年8月～)

○あさひ安心カード推進事業 (平成25年6月～)

急病等の緊急時に必要な緊急連絡先等を記入した「安心カード」を設置し、駆けつけた消防隊員等が迅速な対応をとれる仕組みづくりを推進します。

- ・実施集落、人数 … 28集落、232世帯 338名

○おだがいさま黄色い旗運動

「今日も元気です」の合図として「黄色い旗」を玄関に掲出することで安否確認を行う仕組みを、住民同士の見守り活動の一環として取組んでいただき、安心と住民同士のつながりのある地域づくりを目指します。

- ・実施集落 … 上田沢 (平成25年6月～)



②地域支え合いプラン策定事業

朝日地域 地域支え合いプランの策定

地域の当面の重点的な地域課題に焦点を当て、その解決にあたる目標や方策等を整理した「地域支え合いプラン」(地域単位の福祉活動計画)の策定に向け、具体的実施及び検討を行う事業です。

③福祉活動支援事業

集落や団体等を単位とした住民座談会やお茶のみサロンへ助成金を交付し開催を支援します。

④福祉関係団体事務担当・助成事業

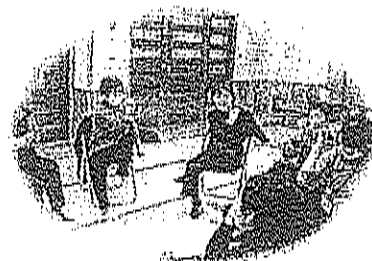
- 団体事務
  - ・朝日かがやきクラブ
  - ・朝日手をつなぐ育成会
  - ・朝日身体障害者福祉協会
  - ・山形県遺族会朝日支部
  - ・ほほえみ桜の会
- 助成先団体
  - ・朝日地区民生児童委員協議会
  - ・朝日かがやきクラブ
  - ・朝日手をつなぐ育成会
  - ・朝日身体障害者福祉協会

### ⑤仲間づくり交流事業

#### お茶のみサロンの開催

集落、団体等と連携し、生きがいと閉じこもり防止を目的にサロン活動を推進します。

- ・ふっくらサロンの開催 … 毎月1回（平成25年7月～）



### ⑥朝日地域連絡調整会議の開催

- ・毎月1回開催
- ・連携機関 … 朝日庁舎市民福祉課、地域包括支援センターあさひ、朝日ぶなの木会

## 3. 食の自立支援事業

### 配食サービスの実施（市委託事業）

一人暮らし高齢者で調理困難な方を対象に、週1回（月4回）ボランティアが配食を行います。

- ・平成27年度 利用人数 … 5名
- 配食数 … 4月-16食、5月-20食、6月-20食

## 4. 福祉ボランティアまちづくり事業

### ①福祉教育推進事業（ボランティア活動推進事業）

ボランティア活動支援、福祉人材育成について、地域や学校と連携し推進します。また、ボランティア団体と連携し各種事業に取り組みます。

### ②ボランティア体験

小学生を対象にボランティア体験を実施し、福祉に対する意識の高揚を図ります。

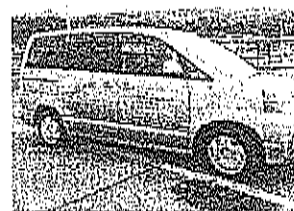
- ・7月29日(水) … 「手話&バルーンアート体験」

## 5. 福祉有償移送サービス事業

### ほほえみ号の運行

交通機関の利用が困難な方々の通院等の支援を、運転ボランティアほほえみ桜の会の協力により、移送車両ほほえみ号(2台)を活用し実施します。

- ・利用登録人数 30名
- ・運行件数 4月-23件、5月-18回、6月-30回



## 6. 家族介護者交流支援事業（市委託事業）

### 家族介護者交流会の開催

在宅で介護をされているご家族を対象に、心身のリフレッシュを図ることを目的に開催します。

- ・年2回開催 … 第1回 7月4日(土) 参加者18名
- 第2回 9月予定

## 7. ふれあい福祉相談・福祉サービス利用援助事業

### ①巡回法律相談の開設 ※相談無料、予約制

- ・朝日福祉センター会場 7月29日(水) 午前10時～午後3時

### ②生活福祉資金の貸付

- ・貸付件数 12件（今年度新規貸付件数 0件）

### ③たすけあい資金の貸付

- ・貸付件数 5件（今年度新規貸付件数 0件）

### ④日常生活自立支援事業の実施

- ・契約件数 3件（今年度契約準備件数 1件）

# 福祉ボランティアのまちづくり

ボランティア意識が高まる中で、ボランティアセンターを活動の拠点とし、相談、登録、調整、情報収集、情報提供を行い、ボランティア活動の充実を図るとともに、福祉の心を醸成するため福祉教育を推進し、一人ひとりが地域の中で自分の役割を見つけだし行動できる人材を発掘・養成することを目的とします。

(ボランティア活動推進事業：9,705千円)

地域福祉課・各福祉センター

## \* 鶴岡市ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の拠点として、ボランティア精神の啓発、ボランティアに関する相談・助言、ボランティア活動の情報収集・発信を行います。また、ボランティアセンターの円滑な運営ができるよう、ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティア活動の推進、方策等について指針を示します。

○ボランティアセンター 鶴岡市泉町5-30 (TEL: 23-2970) 鶴岡市総合保健福祉センター2階

開設日時：月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前8時30分～午後5時15分

### 【鶴岡市ボランティアセンター来館者の推移】

	性 別		合 計
	男	女	
24年度	1,065人	723人	1,788人
25年度	1,075人	583人	1,658人
26年度	702人	452人	1,154人

### 【ボランティア登録状況】

	鶴 岡	
	個人	団体
24年度	186	97
25年度	206	69
26年度	134	75

## \*ボランティア活動推進事業

ボランティア活動の活性化を図るため、各種講座・研修会を開催しボランティア同士の連携を深め、新たな人材発掘とボランティア活動の充実を図ります。また、各福祉センターで取り組む事業の実施を通して必要な支援・推進を進めていきます。

### 【各種講座・研修会等の開催予定】

#### ①ボランティア受入れ担当者スキルアップ研修

各施設・団体のボランティア担当職員を対象にボランティア受入れについての研修を行います。

#### ②市民・ボランティア研修交流会

ボランティア・市民活動団体が一同に会し交流を図ります。

#### ③ボランティア養成講座

ボランティア初心者、または未経験者がボランティア活動に必要な基礎知識及び情報を習得することでボランティア活動をより身近なものとして理解し、ボランティア活動のきっかけとしてもらう講座を開催します。

#### ④ボランティアフォローアップ研修会

現在ボランティアセンターに登録しているボランティア活動者を対象に、スキルの向上やマンネリ化防止のための研修会を開催します。

#### ⑤災害ボランティアセンター設置マニュアル作成

本市で災害発生時の体制整備として災害ボランティアセンター設置マニュアルの作成を行います。

### 【平成 26 年度実施状況】

内 容	実施対象者	実績等
ボランティア受入れ担当者 スキルアップ研修	施設・団体のボランティア担当職員	32名参加
市民・ボランティア研修交流会	ボランティア・市民活動者等	85名参加

### 【その他活動実施状況】

	内 容
鶴 岡	ちょボラ場開設（ちょっとしたボランティア活動） 延べ386名参加
藤 島	災害をテーマにした研修会の開催（町内会長等対象） 32名参加
羽 黒	ボランティア活動育成支援（ハッピー広場・傾聴等） サマーチャレンジの実施（パルーンアート・青色駐車場・忠魂碑めぐり） 延べ44名参加
櫛 引	サマーチャレンジの実施（福祉施設・病院でのボランティア体験） 延べ96名参加
朝 日	ボランティア交流・研修会開催（認知症や地域おこし隊講話等） 延べ49名参加
温 海	青少年ボランティア養成講座開催 延べ39名参加

\* 福祉教養推進事業

地域に根差した先駆的な福祉学習、ボランティア体験学習に取り組む学校に対し助成金を交付します。  
また、各学校や地域、団体と協力し「福祉の心」を醸成する福祉学習を行います。

【福祉学習助成金交付状況】

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
24年度	13	4	3	1
25年度	12	3	2	1
26年度	13	4	3	1

【平成26年度ボランティア・福祉学習実施内容】

	回数	参加延べ人数	対象
鶴岡	18	1,018	小学校6校・中学校1校・養護学校1校・団体4団体
藤島	1	23	団体1団体
羽黒	6	318	小学校2校・中学校1校・団体等2
榑引	1	22	小学校1校
朝日	2	18	小学校2校
温海	4	116	小学校4校・中学校1校・団体3団体

## H27「朝日地域応援隊」の開催について

### 【目的】

朝日地域在住職員を対象に、部署、職種、年代の枠を超えた「朝日地域」のつながりが生まれるように、職員間の交流を図ることを目的として開催するものです。

2回目となる「朝日地域応援隊」は、今年度は市シルバー人材センターで通年行なわれている奉仕活動に参加し、環境美化活動（カーブミラー磨き）に協力するものです。

参加者の皆さんと交流を図りながら、少しでも地域貢献できればと思います。皆さんの自主的な参加を心よりお待ちしております。

【日 時】平成27年6月27日（土） 8：30（集合）～11：00

（集合場所 朝日庁舎スクールバス駐車場前）

【場 所】当日、班ごとに分かれて移動します。

（参加団体：シルバー人材センター会員、JA庄内たがわ朝日支所職員、鶴岡市社協朝日地域在住職員、社協OB職員等）

### 【日 程】

8:30	9:00	11:00
集合	朝日地内 カーブミラー磨き	解散

【内 容】環境美化活動（カーブミラー磨き）

【持ち物】タオル、脚立

※脚立（三段式程度）は、持参できる方のみで結構です。

【出欠について】

**6月12日（金）まで**、朝日福祉センターにお知らせ下さい。

【予 定】7月23日（木）朝日地域職員の皆さんを対象に、「暑気払い」を企画しております。後ほどご案内しますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

【問合せ】朝日福祉センター 奥山和行（内線2110）

TEL：53-2795 FAX：53-2794

◎地域貢献(地域交流)事業等調査まとめ (平成26年10月までの取り組み状況)

施設名	名称	内容	日時	場所	参加者(職員・住民等)	職員対応	経費等	備考
たなかだて	グリーン作戦	大山地区内のゴミ拾い	5月10日(土)7時~8時	大山コミセン~高尾山公園	職員9名	ボランティア	なし	高尾山公園センターおみやげやおみやげ
	グリーン作戦	大山地区内のゴミ拾い	6月6日(金)6時~7時	大山地区公園	職員6名	ボランティア	なし	高尾山公園センターおみやげやおみやげ
	大山地区歩道整備	大山地区歩道の整備に協力	10月24日(金)	大山コミセン	職員2名	別荘中に班班	なし	
	SATOYAMA MARUSHE	ふるさと開催に向けての準備	11月2日(日)9時30分~11時30分、13時30分~15時30分	ほごりあ	職員2名	ボランティア		予定
	緑道まつり	イベントスタッフ、駐車場整理	2月14日(土)	大山地区	職員4~5名	ボランティア		予定
	足元草刈	認知症健診者の足元協力	その都度	大山等各地区	職員で対応可能な方	ボランティア		おみやげやおみやげの授与とおみやげの回収(おみやげ)
	たなかだて管内草刈	管内の草刈	4月6日(日)18時~9時	緑道園地、別荘前歩道の回り	職員6名参加	ボランティア	なし	
	緑道ボランティア①	緑道園地の草刈作業	6月9日(金)17時30分	緑道園地の歩道	職員20名参加(包括ヘルパー含む)	ボランティア	ホーチキ、現金購入2,000円	
	緑道ボランティア②	緑道園地の草刈作業	6月9日(金)17時30分	緑道園地の歩道	職員25名参加(包括ヘルパー含む)	ボランティア	なし	
	緑道ボランティア③	緑道園地の草刈作業	8月6日(水)7時30分~18時30分	えなづ緑道内	二小4年生以上9名、ボランティア職員	別荘中に班班		
えなづ	緑道ボランティア④	緑道園地の草刈作業	11月11日(木)18時30分~17時	緑道園地の歩道	職員(包括ヘルパー含む)	ボランティア	なし	
	緑道ボランティア⑤	緑道園地の草刈作業	11月12日(金)18時30分~17時	緑道園地の歩道	職員(包括ヘルパー含む)	ボランティア	なし	
	買い物ツアー①	資金地区の一人暮らし高齢者などをお見舞い、買い物支援	12月中旬 11時から15時	こひあ、森田こまぎなど	職員、別荘ボランティア、一人暮らし高齢者	別荘中に班班	職員は特に非からない、職員の運営は個人負担	
	買い物ツアー②	資金地区の一人暮らし高齢者などをお見舞い、買い物支援	12月中旬 1時から3時	こひあ、森田こまぎなど	職員、別荘ボランティア、一人暮らし高齢者	別荘中に班班	職員は特に非からない、職員の運営は個人負担	
	作品展	作品展開催とともに、おみやげを贈り、交流の場をつくる	3月中旬	えなづ新館	地域住民、職員	別荘中に班班	おみやげの準備	
	高尾山内倉庫整備	高尾山内倉庫の整備	4月1日(日)	緑道園地の歩道、公園	職員12名	ボランティア	なし	
	緑道整備	緑道園地の除草、歩道の除草	毎月2回 8時~8時30分	緑道園地の歩道	常駐職員全員	ボランティア	なし	
	緑道整備	天神祭の備品支に協力を	5月上旬	総合内	利用者と職員13名		なし	
	緑道整備	三浦海岸クリーン作戦に参加	7月20日 7:00~8:00	三浦海岸	職員15名	ボランティア	なし	
	とよら	緑道整備と買い物ツアー	11月10日 10時から15時	高尾山公園、おみやげセンター	職員3人、一人暮らし高齢者4名	別荘中に班班	職員は特に非からない、職員の運営は個人負担	
ふれあい	緑道整備と買い物ツアー	11月27日	総合内	職員5人	別荘中に班班	職員は特に非からない、職員の運営は個人負担		
	三浦海岸まつり参加	三浦海岸まつり参加	11月2日	三浦海岸	職員7人	別荘中に班班	現金購入のおみやげの準備	
	高尾山まつり参加	高尾山まつり参加	11月9日	高尾山公園	職員7人	別荘中に班班	現金購入のおみやげの準備	
	高尾山まつり参加	高尾山まつり参加	11月10日(日)9時30分~11時30分	高尾山公園	職員20名参加(包括ヘルパー含む)	ボランティア	なし	
	出前講座開催	第六学区コミセンの会食へ	毎年9月中旬(日)	第六学区コミセン	職員3名参加	ボランティア	なし	
	緑道整備	緑道園地の整備	11月10日(日)10時~11時	緑道園地の歩道	職員6名参加	ボランティア	現金購入	職員15名、現金購入2,000円
	グリーン作戦	さくらまつりのイベントスタッフ	4月20日(日)10時~15時30分	大山公園	職員7名	ボランティア	なし	非営利活動
	犬祭り	こみあい	5月10日(土)7時~8時	大山公園	職員20名	ボランティア	なし	職員7名(含む12名、児童館3名、たなかだて3名)
		ハローワークの準備	6月5日(木)18時~19時30分	大山公園	職員3名	別荘中に班班	なし	職員5名(包括ヘルパー3名、地域住民2名)

施設名	名称	内容	日時	場所	参加者(職員・住民等)	職員の対応	経費等	備考
おおやま入居	クレーン体験	ごみ拾い(大森りまのこみ拾い)	6月6日(金)9時~7時	大森御前町・大山中学校周辺・大山駅前	職員17名	ボランティア	なし	参加14名(男性14名・児童部6名・たかたて6名・他県5名)
	大森ミニ競艇大会	ミニ競艇大会(大森りまのこみ拾い)	9月1日(月)16時~17時30分	大山コミセン競艇場	ボランティア4名、他県、18名、入居者:12名	ボランティアと競艇中	競艇チケット500円	競艇チケット500円
	合同研修会	合同研修会(大森りまのこみ拾い)	9月5日(金)15時30分~17時30分	高野香積荘センターおおやま2Fホール	職員:37名、他県住民:25名	研修中・休憩中	研修料金5000円	研修料金5000円
	SATOYAMA MARUSHE	おおやま入居者の健康講座	11月2日(日)10時30分~11時30分、13時30分~15時30分	ほとあり	(教名)	ボランティア		予定
	出前研修講座	サロンのでの講座開催	11月10日(月)19日(水)、25日(水)	大山地区	(教名)	研修中		予定
	講習まつり	イベントスタッフ、駐車場整理	2月14日(土)	大山地区	(教名)	ボランティア		予定
	作品展発表会	利用者の作品展示	4月20日~23日14時から15時30分	マイナー・ピエスおおやま	職員・住民5人	研修中に発表		
	聴覚ボランティア	おおやま地域のゴミ拾い	5月10日(月)7時から8時まで	徳島県道	職員12名参加	ボランティア	ホーチキ・選手購入2000円	
	聴覚ボランティア	おおやま地域のゴミ拾い	5月6日(金)16時から7時まで	大山地区	職員14名参加	ボランティア		
	聴覚ボランティア	聴覚講座	5月7日(土)9時	徳島県道	職員19名参加	ボランティア		
おおやま社会	公開講座	介護福祉士	10月24日(金)18時30分から20時	マイナー・ピエスおおやま	職員6名他県住民4名	研修中	研修料金5000円	
	SATOYAMA MARUSHE	11月の里山歩き(おおやまの里山)	11月2日(土)午時から午後のどちから2時間	ほとあり		ボランティア		
	出張講座	災害でも出来るレクリエーション	11月10日(月)13時30分から	中野町社会		ボランティア		
	出張講座	自宅でも出来るレクリエーション	11月16日(日)10時から11時	大山公園前		研修中に発表		
	出張講座	自宅でも出来るレクリエーション	11月26日(水)1時から11時30分	上木町公民館		研修中に発表		
	新編まつり		2月14日(土)					
	健康ボランティア	聴覚講座の発表発表	6月9日(日)~15日(日)11時開演	徳島県道の	職員25名参加	ボランティア		
	地域を巡る	ボランティアのカーブスカーレースごみ拾い	10月5日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名中40名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	地域を巡る	ボランティアのこみ拾い	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周・上出橋・三子対地内	ボランティア65名中40名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	見守り	地域を巡る(おおやま)	引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	徳島県道	ボランティア65名	ボランティア	なし
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
引引地内のこみ拾い		引引地内のこみ拾い・おおやま	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
おおやま社会	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催
	健康ボランティア	健康ボランティア	11月9日(日)18時から19時	引引地内全周	ボランティア65名	ボランティア	なし	福祉センター主催



# 福祉有償移送サービス

(福祉有償移送サービス事業：8,458千円)

地域福祉課・各福祉センター

バスやタクシーなどの公共交通機関の利用が難しい高齢の方や障がいのある方が、通院や買い物などに出かけたいときに福祉車輛「おおぞら号・ほほえみ号」で送迎する会員制の移動支援事業です。  
経路は運送の利用も可能。

対象者：鶴岡市内にお住まいでバスやタクシー等の公共交通機関の利用が難しい方

- i) 介護保険の要介護者・要支援者の方
- ii) 身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方

運行日時：通年（但し、12/29～1/3を除く） 午前9時～12時／午後1時30分～4時30分

運行範囲：庄内地域、山北地区で「鶴岡市から出かける」  
又は、「鶴岡市に帰る」ことのできる範囲

利用料：初乗りから10キロまで300円、  
以後20キロまで5キロごとに300円  
20キロ以降の5キロごとに200円ずつ加算（チケット制）

相談窓口：各福祉センター

問い合わせ：鶴岡福祉センター 泉町5-30 (Tel:24-0053)  
朝日福祉センター 熊出字東村156 (Tel:53-2795)  
温海福祉センター 温海戊577-1 (Tel:43-2114)

運行台数：おおぞら号・ほほえみ号 7台

## 【実施状況】

	利用登録者 (人)	運行回数 (回)
24年度	492	6,342
25年度	447	7,024
26年度	405	5,577

鶴岡市社協 平成26年度福祉有償移送サービス事業運行実績

1. 運行回数

月別	広域鶴岡事業	朝日地域事業	温海地域事業	合計
4月	423回	20回	20回	463回
5月	428回	18回	15回	461回
6月	440回	18回	17回	475回
7月	475回	23回	20回	518回
8月	411回	11回	18回	440回
9月	431回	17回	15回	463回
10月	438回	11回	30回	479回
11月	416回	16回	23回	455回
12月	403回	14回	28回	445回
1月	386回	28回	31回	445回
2月	380回	22回	27回	429回
3月	448回	29回	27回	504回
合計	5,079回	227回	271回	5,577回
月平均	423.25回	18.92回	22.58回	464.75回
割合	91.07%	4.07%	4.86%	100.00%

2. 走行距離

月別	広域鶴岡事業	朝日地域事業	温海地域事業	合計
4月	2,203 km	306 km	428 km	2,937 km
5月	2,170 km	261 km	364 km	2,795 km
6月	2,314 km	287 km	453 km	3,054 km
7月	2,479 km	379 km	452 km	3,310 km
8月	2,132 km	180 km	379 km	2,691 km
9月	2,245 km	242 km	388 km	2,875 km
10月	2,272 km	127 km	719 km	3,118 km
11月	2,167 km	190 km	555 km	2,912 km
12月	2,092 km	192 km	701 km	2,985 km
1月	2,014 km	484 km	895 km	3,163 km
2月	2,028 km	293 km	601 km	2,922 km
3月	2,381 km	530 km	947 km	3,858 km
合計	26,497 km	3,441 km	6,682 km	36,620 km
月平均	2,208.08 km	286.75 km	556.83 km	3,051.67 km
割合	72.35%	9.40%	18.25%	100.00%

3. 実利用金額

月別	広域鶴岡事業	朝日地域事業	温海地域事業	合計
4月	140,400円	15,000円	17,800円	173,200円
5月	139,100円	12,800円	23,700円	175,600円
6月	146,000円	12,900円	21,500円	180,400円
7月	158,000円	18,000円	17,700円	193,700円
8月	132,900円	8,800円	21,400円	163,100円
9月	142,400円	11,900円	18,500円	172,800円
10月	145,300円	6,600円	34,400円	186,300円
11月	139,100円	9,600円	26,500円	175,200円
12月	130,200円	9,200円	33,600円	173,000円
1月	127,200円	21,200円	33,500円	181,900円
2月	122,900円	14,100円	28,500円	165,500円
3月	144,900円	25,000円	31,500円	201,400円
合計	1,668,400円	165,100円	308,600円	2,142,100円
月平均	139,033.33円	13,758.33円	25,716.67円	178,508.33円
割合	77.89%	7.71%	14.40%	100.00%

が、「積極的平和」という精神はノルウェーを高めるなど「何も」しなければ困難からと伝えられている。どしたと早りかなく、の平和主義、ヨハン・ガルトウンク氏が 攻められることはないという考えを述べ、なるか、小学生の投票から考えたい。

# 食料品提供の協定締結

## 鶴岡市社協とコープ東北

鶴岡市社協福祉協議会(難波五記会長)は14日、コープ東北サネット事業連合(宮城県仙台市)と食料品などの無償提供に関する「コープフードバンク」の協定を結んだ。コープ側が取引先の企業から提供を受



鶴岡市社協の難波会長(左)と松本共立社理事兼が「コープフードバンク」の協定を締結した

けた食料品などを、生活が困窮しており食品の支援が必要と認められた人へ市社協を通じて届ける。コープフードバンクは、品價に問題はないが包装が破れたり賞味期限が迫ったりして廃棄対象となった食品をメーカーから無償で譲り受け、食へ物を必要としている福祉施設などへ贈る社会貢献活動の一環。みやぎ生協が2012年度に始め、昨年4月にコープ東北が事業を引き継いだ。現在、フードバンクに食料品などを提供する協賛企業は宮城県内を中心に65社、事業運営を支援する法人サポーターは100社。当初は宮城県内だけの取り組み

だったが、福島や岩手、山形などに活動が広がっている。県内では山形、天童、栗根の3市に続き鶴岡市は4例目となる。協定締結は生活協同組合共立社(鶴岡市宝田一丁目)で行われた。市社協の難波会長と、コープ東北サネット事業連合副理事長の松本政裕共立社理事兼が協定書を取り交わした。難波会長は「生活困窮者自立支援法が今年4月に成立して以降、市社協が市役所に設置した窓口で予想より相談者が来ている。生活保護を受けける手前で食い止める手段の一つとして、こうした食への提供は非常にありがたい」と謝辞を述べた。この日、早速フードバンクから8割分の食料品が市社協へ贈られた。内容はカップラーメンやスープ、リゾットなどのインスタント食品、お菓子、コーヒールや米など。今後、1カ月に1回のペースでコープ側から食料品が届けられる。市社協は「以前も生活が困窮している人へ食料品の提供は行っていたが、数に限りがあった。今後は要望に応じていろいろな種類を数多く



# 集落支援員による集落対策の推進

## ～地域に詳しい知見ある人材による集落への目配り～

### 集落支援員

⇒朝日・温海地域を対象にそれぞれ1名ずつの配置

- ・全域を対象に集落振興の取組みへの支援
- ・集落ビジョンの策定・集落ビジョン実践事業への取組み支援
- ・特に高齢化率の高い集落の個別課題の解決

- ◆集落に対し十分な目配りをし、過疎住民の安全・安心の暮らしを支える。
- ◆過疎地域で暮らす人が、集落の課題を自らの地域の課題として捉える。
- ◆住民・地域・市がパートナーシップを形成して過疎対策に取り組む。

### 集落の課題把握と現状点検

- これまでの集落調査をもとに、交通・通院・買物・伝統文化・共同作業・集落活動などの課題把握
- 課題をもとに、市職員と協力し、集落の巡回等による集落の現状点検

【集落支援員】  
集落の巡回・点検による現状把握

### 集落のあり方についての話し合い

- 住民と住民、住民と市等の間で、集落の現状・課題、あるべき姿などについての話し合いを促進

【集落支援員】  
集落の課題解決のアドバイザー・コーディネート

### 集落点検や話し合いを通じて必要と認められる施策

- ①デマンド等地域交通の確保
- ②除雪等高齢者の見守り・支援
- ③地域への移住・交流の推進
- ④特産品を生かした集落活性化
- ⑤農山漁村交流
- ⑥伝統文化継承
- ⑦集落の自主的な活動

【集落支援員】  
集落の課題解決のアドバイザー・コーディネート

### 集落間の連携強化とフォローアップ

- 共通の集落課題の解決にむけて、集落間の連携を強化
- 個別の取組みをつなぎ、地域づくり活動の輪を拡大

【集落支援員】  
集落と集落のつなぎ役  
取組みのフォローアップ

### 集落ビジョンの策定

- H23ビジョン策定(※H24～実践事業)  
【朝日地域】: 大島地区(猿岡、寿岡、松ヶ崎)  
【温海地域】: 暮坪、安土、木野俣
- H24ビジョン策定(※H25～実践事業)  
【朝日地域】: 上村、田妻俣、関谷  
【温海地域】: 小名部、模代、山五十川

### 集落ビジョン実践事業

- H25ビジョン策定(※H26～実践事業)  
【朝日地域】: 中村、下村  
【温海地域】: 峠ノ山、鍋倉、小国、関川

### 集落の維持・再生

計 18集落

# 地域おこし協力隊による支援

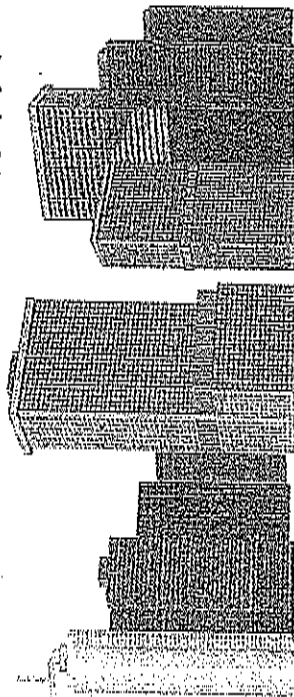
## 目的

人口減少や高齢化の進行が著しい過疎地域において、地域おこしに意欲のある都市部の若者を地域の新たな担い手として迎え、その定住・定着を図りながら、地域力の維持・強化を図ります。

## 概要

モデル地域に都市部の若者を受け入れ、地域行事やイベントの応援をはじめ、住民の生活支援など、各種地域協力活動に従事してもらいながら、集落に対する寄り添い型の支援を行います。

## 3大都市圏をはじめとする都市圏



定住・定着

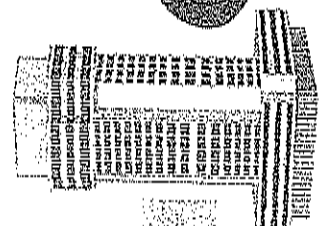


## 地域協力活動の内容

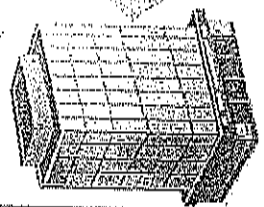
- 地域行事やイベントへの応援
  - 地域づくり活動への参画
  - 自然学習事業の指導業務補助
  - 地域の特産物を活用した取り組み
  - 草刈りなどの共同作業
  - 高齢者等の生活支援
  - 地域づくり活動等の情報発信 等
- ※その他、協議により決定

「地域おこし協力隊」  
として委嘱・活動支援

※1年～3年間



国



鶴岡市

財源手当

【寄り添い型の支援】  
各種地域協力活動に従事

地域力の維持・強化

# 地域を支える新しい力に ——鶴岡市「地域おこし協力隊」——



## 地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」は総務省が創設した外部人材活用制度です。人口減少や少子高齢化に悩む自治体において、三大都市圏等の都市部に住む若者の熱意や行動力を取り込み、地域力の維持・強化を図ることを目的としています。

協力隊を導入する自治体は、都市部の若者に対して募集や面接を行い「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は約三年間の活動期間中、地域に住み込みながら地域行事やイベントの応援、地場産品の開発・販売、農林水産業への従事、高齢者の生活支援などの地域協力活動を行います。期間後は、協力隊として培った経験や技術、ネットワークを生かし、同じ地域への定住や定着につなげていくものです。

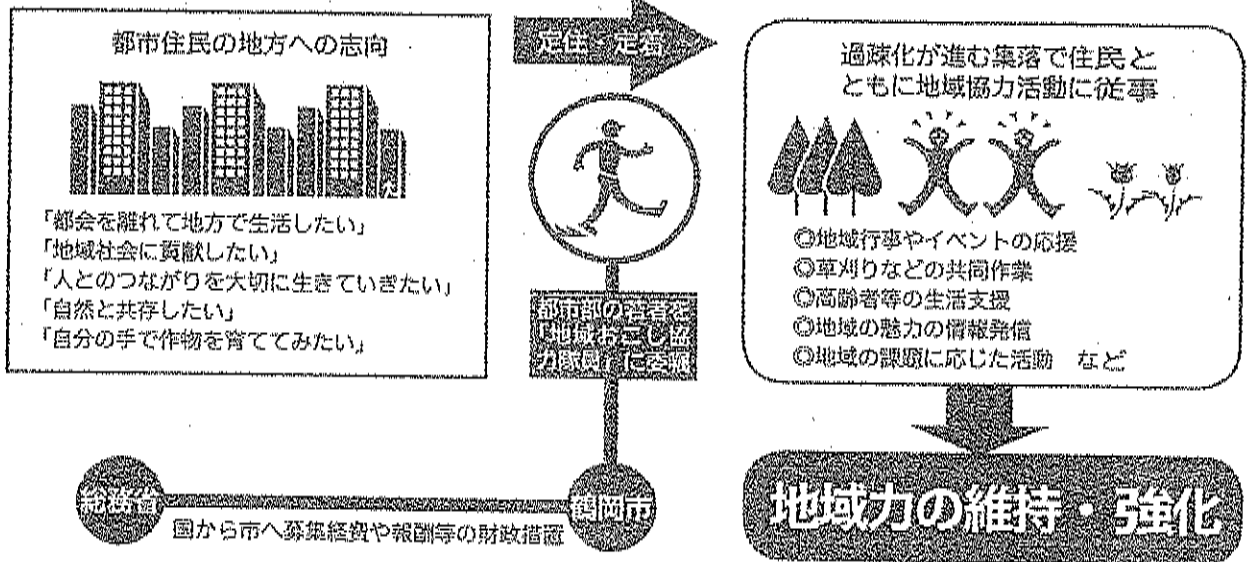
制度が始まった平成二十一年度の隊員は八十九人でしたが、今年度は千五百十一人。四百四十四の自治体で活動しています。また任期を終え、そのまま同じ地域に定住した隊員は約六割に上りました。進路は特産品を生かした

日本の総人口は平成二十一年をピークに減少へ転じ、出生数も百万人を切るなど、減少傾向に歯止めがかかっていません。本市でも人口減少は止まらず、特に、離農や若者の流出など、いち早く過疎化が進行してきた中山間地域の農山村集落では、集落機能が弱まり将来的には集落の維持が困難になることが心配されています。

このような中、安心して暮らせる・明るい活力ある地域として維持・強化するために、住民自ら課題や将来像を話し合いながら、地域づくり活動に取り組む集落があります。今回の特集では、このような住民主体の地域づくり活動を支える「地域おこし協力隊」を取り上げ、大鳥地区と福栄地区における隊員の取り組みなどについて紹介します。

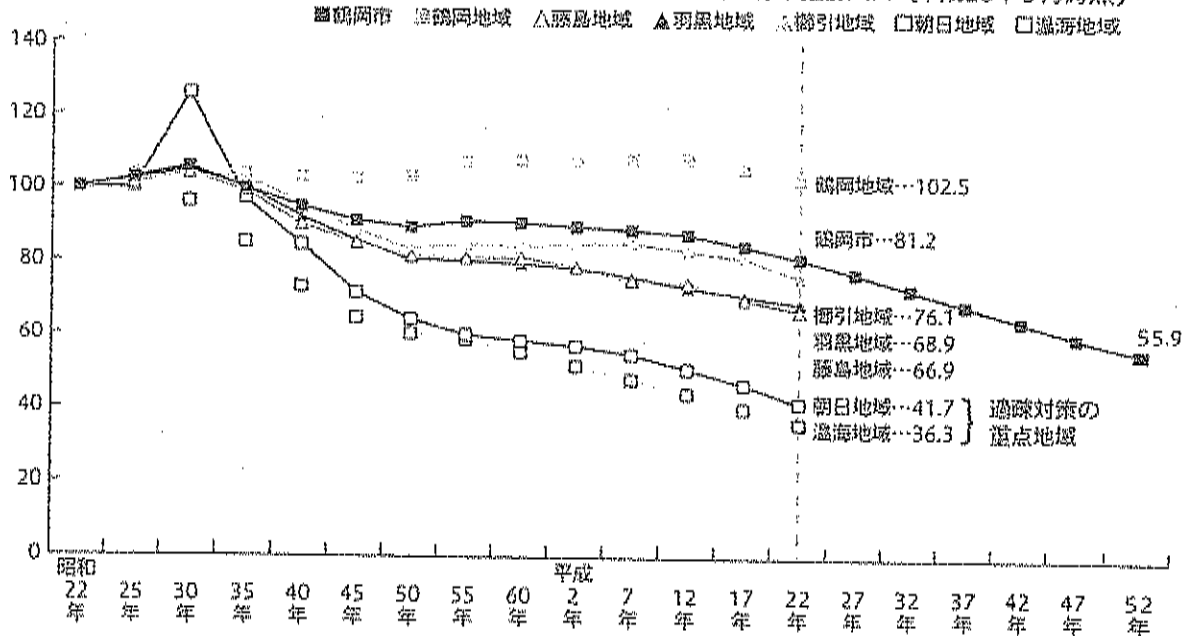
問合せ 本所地域振興課 25・21  
11内線585

「地域おこし協力隊」の事業イメージ



鶴岡市の人口の推移（昭和22年を100とした場合）

（資料）国勢調査。平成27年度以降は国立社会保障人口問題研究所の将来推計人口（平成26年3月時点）



起業、営農組織や森林組合、NPO法人への就業、新規就業などで、地域活性化につながる人材として活躍の場を広げています。国は昨年十二月に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地方への新しい人の流れをつくるために、協力隊についての制度拡充を決めました。来年度には隊員を三千人へ、三十二年度には四千人へ増やすことが計画されています。

**過疎対策としての協力隊**

本市は、十七年度の市町村合併によって過疎地域自立促進特別措置法における過疎地域に指定されました。特に人口減少が著しい朝日・温海地域を過疎対策の重点地域に位置付け、地域力の維持・強化を図るため過疎地域集落対策事業を行っています。

両地域ではこの事業を通し「地域をもっと良くしたい」「住み良い地域にしたい」「地域資源を生かしたい」という思いを基に、住民同士で集落の課題や将来像について話し合いを重ねてきました。現在、十八集落十六団体がこの内容を集落ビジョンとしてまとめ、地域づくり活動を始めています。

本市では、こうした活動を支援するため協力隊を導入し、二十五年度に朝日地域大島地区へ二人の隊員を、また今年度に温海地域福栄地区へ三人の隊員を配置しました。五人の隊員は、地域住民とともに汗をかきながら地域協力活動に取り組んでいます。



地域おこし協力隊 砂山元



いろいろなことを見つめ、試行錯誤し、深く学ぶことができています。これまで通り自然体で大鳥の方々と暮らしを紡ぎたいです。

地域おこし協力隊 田口比呂貴



住む住まないでは測れないような人生の学びを体験していると思います。最終年度は大鳥を深く掘り下げた内容の雑誌を作ります。

生きがいサロン



家に閉じ籠もりがちになる冬期の高齢者の健康・生きがいづくりを目的に、各集落の公民館で実施しました。

隊員の持ち込み企画

- 耕作放棄地の再生
- 移動+買物+物流支援
- 『大鳥史』の作成
- 首都圏でのマルシェ出店
- 各種ワークショップ

協議会と協働の取り組み

- 伝説の巨大魚タキタロウ調査
- 生きがいサロン
- 大鳥の技「山の教室」など

大鳥地区  
地域おこし協力隊

■平成25年度～27年度の活動

- ①地域行事やイベントの応援
- ②地域づくり活動への参画
- ③自然学習事業の指導補助
- ④地域特産物の活用
- ⑤草刈りなどの共同作業
- ⑥高齢者の生活支援
- ⑦情報発信

大鳥地区の活性化に  
向けた課題

- ▷高齢者世帯の生活支援、高齢者見回り
- ▷コミュニティビジネスの立ち上げ
- ▷生きがいサロンの開設
- ▷交流と地域イベントの展開
- ▷農林産物の生産から販売までの仕組みづくり

隊員の事務室がある大鳥自然の家で働く三浦勝子さん

大鳥の暮らしにもすくになじんで、地域のことを一所懸命してくれています。自分も二人から若いエネルギーを分けてもらっています。夏祭りで楽しそうに踊っていた姿が忘れられませんね。



隊員の家の前のタキタロウ館で働く工藤静代さん

自分が楽しめる場所を大鳥でいろいろ探しているようですね。それを外に向けて発信したことで、大鳥に足を運ぶ人も増えました。二人を孫のように思っている人は私だけではないと思いますよ。



タキタロウ調査



大鳥池で30年ぶりとなるタキタロウの生息調査を協議会と隊員、公募した調査メンバーで実施しました。

大鳥地区と地域おこし協力隊

大鳥地区では松ヶ崎・寿岡・繁岡の三集落で構成する大鳥地域づくり協議会が、平成二十三年度に集落ビジョンを策定しました。一方、当時の地区人口は八十五人、四人に三人が六十五歳以上で二十代の若者は皆無という状況でした。集落ビジョンの実現に向けた地域づくり活動を実践するマンパワーが不足していたことから、協力隊を受け入れました。

隊員の活動は「寄り添い型の支援」が特徴で、地域行事やイベントの応援、草刈りや除・排雪などの生活支援、農作業のサポートやお茶のみサロンの運営など、多岐にわたる地域に密着した活動を行い、住民との信頼関係を築いてきました。

三年目の今年度は、隊員が得意とする小さな仕事をたくさん生み出し、それを組み合わせて収入源へ結び付けることに挑戦しています。また山菜・キノコ栽培などの中山間地域農業やマタギといった山村のなりわいを基盤とする生活の確立にも取り組んでいきます。

福栄地区と地域おこし協力隊

福栄地区では菅野代・温海川・木野俣・越沢・関川の五集落が中心となつて福栄地域協議会「福の里」を二十五年度に設立しました。福の里では自然や文化、食などの地域資源を活用しながら地域が元気になるような取り組み

地域おこし協力隊 内山拓也  
【情報発信プロジェクト】



福栄の人は美しく優しいと思います。この場所にいるという夢と誇りを胸に全力を尽くします。

地域おこし協力隊 石井孝治  
【特産品開発プロジェクト】



福栄の方々と一緒に汗をかきながら、何事も「楽しむこと」を忘れずにチャレンジしていきます。

地域おこし協力隊 亀森謙  
【生活支援プロジェクト】



木野俣集落センターで7月に始めた地域福祉活動など、住民の暮らしに関わることに取り組みます。

福栄地区の活性化に向けた課題

- ▶地域コミュニティの活性化
- ▶地域資源を活用した生きがいづくり
- ▶地域の暮らしを守る仕組みづくり（防災・健康・買物対策）
- ▶生活環境の整備（空き家対策、水路整備）

福栄地区  
地域おこし協力隊

- 平成27年度～29年度の活動
- ①情報発信プロジェクト
  - ②特産品開発プロジェクト
  - ③生活支援プロジェクト
  - ④集落間の連携強化
  - ⑤福栄小学校の校舎の利活用策の検討

木野俣集落での地域福祉活動

集落に住む障がい者や要介護の高齢者の暮らしを支えるため、雪囲いやごみ出し、除雪など生活の中で大変なことを集落全体で解決できるような仕組みづくりを進めています。その1つとして7月3日から取り組んでいる活動は、福栄地区に診療所を開設し、地域福祉の拠点とするものです。健康相談等を行うなど施設の利便性を高め、医療・福祉環境の充実につなげていきます。

温海特産品まつり



温海地域の特産品が並ぶこのまつりに隊員が参加。福栄地区の餅餅などを販売し、住民と交流を深めました。

福栄地域協議会「福の里」  
会長 忠鉢孝壽さん

あせらず、肩肘張らず、しっかりと地域を見つめて福栄にしかない文化や伝統などの地域資源を、新しい視点で掘り起こしてもらいたい。地域活性化の起爆剤になることを期待します。



福栄地域活性化推進員  
五十嵐丈さん

「地域住民の皆さん一人ひとりが笑顔になる」。協力隊とともに、そんな活動をしていきます。※地域活性化推進員とは、「福の里」に勤務する職員で隊員の活動をサポートします。



地域づくりの主役は住民ですが、協力隊には「明るく活力ある地域にした」「住み良い地域にしたい」という住民の思いを共有しながら、地域づくり活動を支える力になることが期待されています。

自分が住む地域の将来に向けた希望や誇りを形にするため、市では地域や隊員と連携しながら集落の維持・強化につながる取り組みを続けていきます。

地域を支える力に

一年目の今年度は、福栄地区の地域と人を知ることから隊員の活動が始まりました。福の里や福栄地域活性化推進員と協働しながら、地域の活性化と若者の定住・定着を進めていきます。

を進めてきましたが、地域の活性化に向けた大きな推進力になるよう、協力隊を受け入れました。

隊員にはそれぞれに「情報発信」「特産品開発」「生活支援」の三つのプロジェクトと、共通する任務が割り当てられています。

▽情報発信：福栄地区の自然や暮らし方などの魅力を掘り起こし、様々な情報媒体を活用して発信

▽特産品開発：ワラビやナメコ、温海かぶなどを活用した特産品開発や商品化、特産品を活用した体験プログラムなどの企画立案・実施

▽生活支援：買物の支援など中山間地域における生活支援の仕組みづくり

▽共通任務：集落間の連携強化

## 地域福祉リーダー養成研修

福祉課地域福祉係

平成19年から住民主体の地域づくりを推進することを目的に「地域福祉リーダー養成研修」を実施しています。内容としては、地域で活動をしている方々が地域課題に取り組んでいくために必要な知識の取得を目的として実施しているものです。

### ・実施例

#### 平成26年度

第四学区にお住まいの方々を対象に実施しました。講師から地域コミュニティ活性化のための「地域づくりの3つの秘訣」をお話していただきました。その後、「お茶のみサロン」の開催状況と課題についてコーディネーターから説明していただき、そのことを踏まえてグループワークを行いました。

平成27年2月16日(月)第四学区コミセンにて実施し41名受講

#### 平成25年度

温海地域にお住まいの方々を対象に実施しました。はじめに講師から地域福祉リーダーに必要な視点などについてお話をいただきました。その後、温海地域で地域の活性化に取り組んでいる自治会から事例報告をしていただき、そのことを踏まえてグループディスカッションを行いました。

平成25年12月13日(金)温海ふれあいセンターにて実施し26名受講

# 鶴岡市高齢化率推移

## 1、鶴岡市の人口と高齢化率、全国の高齢化率

年次	鶴岡市の人口(人)			鶴岡市の総人口に占める割合(%)		全国の総人口に占める割合(%)	
	総数	老年人口		老年人口		老年人口	
		(65歳以上)	うち75歳以上	(65歳以上)	うち75歳以上	(65歳以上)	うち75歳以上
平成23年度	137,453	39,031	22.13%	28.4%	16.1%	23.3%	11.5%
平成24年度	136,146	39,409	22,509	28.9%	16.5%	24.1%	11.9%
平成25年度	135,403	40,057	22,915	29.6%	16.9%	25.1%	12.3%
平成26年度	133,831	40,689	22,983	30.4%	17.2%	26.0%	12.5%
平成27年度	132,313	41,400	22,991	31.3%	17.4%	—	—

注1) 鶴岡市のデータ: 鶴岡市福祉課「鶴岡市地区別高齢化率等各種データ」

注2) 全国のデータ: 総務省統計局「人口推計年報」(平成26年まで)

## 2、鶴岡市の世帯数と各種高齢者世帯数・比率、在宅寝たきり・認知症高齢者数

年次	世帯数	一人暮らし高齢者世帯		高齢者のみ世帯		一人暮らし高齢者世帯+高齢者のみ世帯		在宅寝たきり 高齢者	在宅認知症 高齢者	ねたきり +認知症
		世帯	比率	世帯	比率	世帯	比率			
平成23年度	47,491	3,564	7.5%	3,691	7.8%	7,255	15.3%	1,672	2,045	3,717
平成24年度	47,724	3,747	7.9%	3,388	7.1%	7,135	15.0%	1,602	2,263	3,865
平成25年度	48,186	3,829	7.9%	3,387	7.0%	7,216	15.0%	1,992	2,255	4,247
平成26年度	48,184	3,892	8.1%	3,789	7.9%	7,681	15.9%	2,031	2,556	4,587
平成27年度	48,293	4,068	8.4%	4,004	8.3%	8,072	16.7%	2,027	2,635	4,662

注1) 鶴岡市のデータ: 鶴岡市福祉課「鶴岡市地区別高齢化率等各種データ」

注2) 「一人暮らし」=65歳以上単身世帯、「高齢者のみ世帯」=男65歳・女60歳以上夫婦のみ世帯+65歳以上のみ世帯